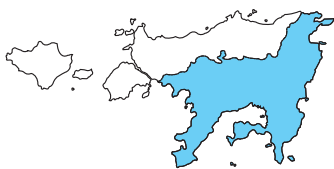


# 議 会 だより



# 小豆島町

## No.41

平成28年8月1日 発行



※オオムラサキとは  
タテハチョウ科の中では最大である。  
オスの成虫の羽が青紫色で、メスの  
成虫の羽はこげ茶色をしている。  
1957年に国蝶に選ばれている。

## オオムラサキの研究発表会

### 中山自然美術館



- 審議議案  
6月定例会について ..... 2
- 一般質問  
11名の議員が質問 ..... 3~9
- 住民の声・町の力 ..... 10

6	月
定	例会

6月定例会は6月15日に開催しました。町長から提出のあった繰越明許費等繰越計算書の報告2件、専決処分3件、平成28年度一般会計補正予算1件、条例改正1件、人事案件1件、契約案件1件など、合計7案件が提出され、原案通り可決しました。

一般会計

追加補正額

3,219万6千円

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第1号)

追加補正予算額は、3,219万6千円で、補正後の予算総額は105億119万6千円となります。

第1号補正は合併10周年記念町史年表作成業務委託料

150万円

6月定例会は6月15日に開催しました。町長から提出のあった繰越明許費等繰越計算書の報告2件、専決処分3件、平成28年度一般会計補正予算1件、条例改正1件、人事案件1件、契約案件1件など、合計7案件が提出され、原案通り可決しました。

繕を行うための補助金です。

地域防災組織育成助成

事業助成金

190万円

合併10周年を記念して町史年表を作成します。

福田地区自治消防団のための防災倉庫や、発電機等の備品整備を行います。

質疑応答

Q 製作部数は？どのようにして配布するのかわか？

A 1,000部ほどである。合併10周年記念式典を行い、参加者に配布する。

自治総合センター  
コミュニティ助成事業  
助成金

250万円

西蒲生の太鼓台の修

護柵設置が1件、搾

質疑応答

Q 補助の内容は？

A 防風施設が1件、鳥

獣害対策のための防

護柵設置が1件、搾

油機等整備費への補助が1件です。

漁港整備工事

400万円

高潮対策のための漁港の整備です。

商工費

岬の分教場整備運営

基金積立金

300万円

小豆島ふるさと村

整備運営基金積立金

500万円

寄付金を財源として、積立するものです。

土木費

橋梁長寿命化点検

業務委託料

300万円

橋の耐震性についての点検、補修を行うものです。

教育費

心の交流事業補助金

20万円

いじめ等の未然防止のため、学校の枠を超えた交流により自己有

用感を高めるための事業です。学力向上モデル校

事業補助金

32万円

興味・関心を生かし、学習意欲をよび起こすための事業です。

専決処分

小豆島町税条例等の一部改正

小豆島町固定資産評価

審査委員会条例の一部改正

小豆島町国民健康保険

税条例の一部改正

地方税法等の一部が改正されるに伴い、本町条例の一部を改正するものです。

小豆島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

一般廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進するため、一般廃棄物処分業についても許可

するにあたり本町条例の所要の改正を行うものです。

条例の一部改正

小豆島町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

一般廃棄物の発生を抑制し、再利用を促進

するため、一般廃棄物

処分業についても許可

するにあたり本町条例

の所要の改正を行うも

するにあたり本町条例の所要の改正を行うものです。

物品購入契約

し尿収集車購入事業

契約金額

656万4千円

契約相手方

(株)池田モータース

人権擁護委員の推薦について

現在、人権擁護委員として活躍されている中武義景氏が平成28年9月30日をもって任期満了となるため、大石雅章氏の任命に同意しました。任期は平成28年10月1日から平成31年9月30日までです。



大石 雅章氏



議員 渡辺 勇

## 町内にある6財産区の

### 今後のあり方について

町「最終的には一本化する

ことが望ましい」

質問

旧内海町への合併の際、旧町村の財産を内海町へ持ち込まず財産区として旧町村に残して60年になる。

地域ごとの収入もバラつきがあり、不公平感もある。将来は町有財産に持ち込んで管理する方法も考えられないか。

答弁

小豆島町とは別の独立した特別地方公共団体であるが、町長がすべての財産区の管理者になっていて、各財産区ごとに議会が設置されている。

財産区所有の財産を取り巻く環境は変化しており法律で求められている建前と現実の間には乖離があり、財産

区制度は経験上、問題があると感じている。町長の仕事をしながら財産区の仕事も責任を持ってやることは現実的には大変難しいと思っている。各財産区の意見を聞き、重要な

政策課題、研究課題として今後取り組んでいく。最終的には地方自治体として一体感を保つ点から小豆島町に一本化することが望ましい。

## ごみの処分計画について

町「計画容量を変更して

利用期間を少し延長したい」



議員 谷 康 男

質問

昨年の定例会の時点で町内2ヶ所ある最終処分場のうち吉野処分場が28年度で搬入停止、徳本処分場においても平成32年度中に計画容量に達するとあったが、計画に変更はないのか。

また、中間処理（破砕）施設の検討は。

答弁 吉野処分場は、平成28年度末をもってごみの搬入を停止する約束となっている。現段階では変わりはない。徳本処分場については、平成32年度中には計画容量に達する見込みで

あるが、最終処分場の建設に少し時間がかかると思われるので、徳本処分場については、どこかの段階で計画容量を変更して利用期間を少し延長したいと考える。

中間処理である不燃ごみの破砕、選別処理はリサイクルの推進、ごみの減量化の観点から検討すべき課題であると認識している。

また、選別の過程で有害物や危険物の点検除去もできるので、最終処分場を建設する際周辺の皆様の安全の確保と不安

の払拭にもつながると考え

## 空き家調査の

### 進捗状況について

町「空き家総数

2,288軒

である」

質問 空き家調査の進捗状況は。

答弁 空き家調査は、使用されていない全ての建物を対象に調査している。結果、空き家

総数2,288軒で、うち1,696軒が住居である。国の空き家に関する特別措置法に基づき、空き家に関する協議会をつくり、空き家の活用に関する総合計画を作ることになっている。



財産区が管理する島



埋立処分の現状



坂口 直人 議員

### 国立公園への

### 外国人旅行者の誘致について

町 「小豆島を含めた瀬戸内海が  
選ばれるように努力してまいりたい」

質問 現在、環境省が日本の国立公園に外国人旅行者誘致策を検討している。今夏にも全国32カ所の国立公園からモデル事業を実施する5カ所が選ばれる予定だ。

瀬戸内海は日本初の国立公園に認定され、

小豆島にも古き良き時代の人の営みが残り、美しい景観や美味がある。環境省が期待する候補地に適しているため、小豆島町が手を挙げてみては。

答弁 小豆島は、寒霞渓をはじめ自慢できる

観光資源も多く、大きな可能性を秘めている。ぜひ、環境省の誘致策に瀬戸内海国立公園が選ばれてほしい。外国人旅行者は増えており、旅行者を寒霞渓など国立公園で受け入れる体制の整備は進めたい。

## 小豆島町の企業の人材育成について

町 「効果的な就労情報の発信に努めたい」

質問 島内の事業者は現在人手不足が深刻である。一方、島の暮らしを望む人が、仕事がないという先入観で二の足を踏むことがある。

町が民間事業者と連携し求人情報や働く人の事例を発信・サポート

トすれば、多くの転入者の定住化、また財政の改善も望めるのでは。

答弁 ハローワークを中心として企業と学校、両町の行政の関係課で組織する定例連絡会を設け、情報の一元化と

効果的な就労情報の発信に努めたい。

転入者の移住・定住化に向け一層、官民連携の強化をはかり、町としても企業と就職希望者とのミスマッチがないように情報発信を心がけたい。



安井 信之 議員

### 奨学金制度の

### 見直しについて

町 「検討組織を設けて  
11月までに判断したい」

質問 町独自の奨学金制度が改正され5年が過ぎ、以前見直しをすると言われたが、いつどのように見直そうと考えているのか。

答弁 奨学金の募集は

毎年3月号の町広報で知らせているが、平成27年度から一覧表で2つの奨学金を比較し、掲載している。今後、見直しについては、貸付状況、返還猶予の状況などの調査

## 小豆島中央高校に対する支援について

町 「民間も含めて両町が新しい高校を  
どう応援するかということが必要になる」

質問 今、小豆島高校に対していろんな形で、支援事業を展開しているが、新しい高校においてどのような支援を考えているか。

答弁 新高校を頂点とし、「幼・保、小・中、高」と連携した島の教育のこれからの方向づけを決定したい。

高校に対しての支援はできる限り継続する考えだが、土庄町との調整も必要だと考えている。とても大事な話なので、トップ同士が話し合いすることは当然必要だ。民間も含めて両町が新しい高校をどう応援するかということが必要になると思うが、県立高校なので県

知事に頑張ってもらおう。



建設中の小豆島中央高校



柴田 初子 議員

## 町営バス

### 三都路線について

町「改善すべき点は

可能な限り対応する」

質問 現金、回数券だと乗り継ぎ券を発行しているのに、ICイルカカードで支払いをすると乗り継ぎ券が、なぜ発行できないのか。また、オリーブバス運行時に設置されていたフリー乗降バス停がなくなり不便を感じている利用者が多い。対応すべきでは。

答弁 イルカカードで支払いをすると13%割引されるので、差額を乗務員が別途機器に手入力が必要となる。抜本的見直しで乗務員に過度の負担がかかり、ダイヤの遅れにつながる懸念し、見合わせていたが徐々に運行形態に慣れつつあ

るので、イルカカードによる乗り継ぎチケットの購入を始め、利便性の向上を図る上で、改善すべき点は、バス事業者・関係機関などとも協議を進め、バス

実施する方向で、委託事業者と調整を行っている。設置箇所については、従来のフリー乗降バス停を基本として、交通安全の観点から停車が可能な位置に設置をしたい。

フリー乗降バス停の設置については、四国運輸局に相談している。6月中に小豆島町地域公共交通会議において、承認を得た後、監督官庁に報告し、



町営三都路線のバス



中松 和彦 議員

## 認定こども園の計画の再検討が必要では

町「一旦立ち止まり、再検討して進めたい」

### 小豆島高校閉校後も町民の利用は可能か

町「必ず利用できるようにする」

質問 小豆島高校は来春閉校する。現在、町民が同校の施設を利用しているようだが、その実態は。また、閉校後も利用は。

答弁 3団体が利用している。香川県教育委員会と協議し、必ず利用できるようにする。

質問 現在、苗羽小学校の敷地に認定こども園を建設すべく計画が進められている。計画は2年ばかり前から始められ、当時小学校の統合は語るべからざるものとして認識されていた。しかし、今日では総合教育会議の場で議論が始められている。小学校の統合が語られ始めた今、たとえ少しばかりの遅れが出ようとも今後の教育方針が決定されるまで一旦計画を休止すべきではないか。



建設予定地の苗羽小学校グラウンド

た小学校のあり方、幼稚園・保育所のあり方を決めてゆく。計画当初との環境が変わったということ、苗羽小学校の敷地に認定こども園をつくるという方針に変わりはないが、一旦立ち止まり再検討して進めたい。



秋長 正幸 議員

## オリーブサミットの開催について

町「オリーブサミットの実現に向け準備をしたい」

質問 オリーブの栽培地は、全国的に広がり小豆島の苗木が全国で育っている。

小豆島こそが、国内における産地としてのトップワンであること誇示するため2018年がオリーブ植栽1

10年の節目になるので「オリーブサミット」を開催しては。

答弁 全国のオリーブ産地のリーダーとして、引っ張っていくという趣旨で大賛成である。

2020年の東京オ

## 2020東京オリンピックに小豆島産オリーブの冠を

町「正式に国の関係機関に陳情して実現したい」

質問 4年後の2020年8月開催のオリンピックに向け、オリーブの冠を金メダリストに贈呈できれば、オリーブの島、小豆島を世界中にPRする最大の機会だと思ふ、実現に向かつて取り組む考えは。

答弁 結論から言えば大賛成である。

既に文部科学大臣とスポーツ庁のオリーブック課長と会い、現物のオリーブ冠を見せ、とてもすばらしいと言ってくれた。

問題は、オリンピック

## 開催について

オリンピック、パラリンピック大会における、金メダリストへオリーブの冠の提供を、より強固にアピールすることができるのでオリーブサミットの実現に向け準備をしたい。



オリーブの冠

クとパラリンピック合わせて、1600個必要であり、小豆島中心に全国各地のオリーブ産地に協力していただき、今後、香川県知事にお願ひし、正式に国の関係機関に陳情して実現したいと思ふ。



松下 智 議員

## 里道・水路等の原材料支給に、工事費の一部を含めた支給は出来ないか

町「次年度の予算編成過程で、一定の成果を出す」

質問 現状の里道・農道・水路等の原材料支給(維持・補修)では、工事費等は支給対象になっていないが、自治会によっては、限界集落的な地域や、世代間交代(高齢化等)による技術者不足・人手不足が生じている。このことにより、地元自治会の会費負担などが重荷になっていく地域も、多々見受けられる。

この現象は、年々増加することはあっても減少することはないと思われるが、この原材料の支給対象要件には、せめて、手間賃程度の工事費部分でも見込めないのか。

答弁 一般的には、里道・農道・水路等の維持管理は、地元自治会や受益者であるのが基本だと思っている。

しかしながら、限界集落のみに限らず、町内のすべての自治会等において、地域コミュニティの力が落ちていくので、自治会内の管理・維持が難しい

時代になってきている。 これまでも、予算の範囲内で支給要件の一部緩和を行った経緯はあるが、今後、こうした状況に応じた制度の変更については、研究・協議を行いたい。この検討結果は、次年度の予算編成の過程で、一定の成果を出したいと思ふ。



里道の舗装の様子



森 崇 議員

## 町職員の年休 消化について

町 「まとめて取るよ  
う指導している」

質問 今年4月、小豆島中央病院が企業団となったので町職員の「年休取得」はストリートに現れる。町職員の仕事特別きついとは思わないが「過労死」の言葉は他の国にはなかったもので日本から広がったと聞いている。仕事は頑張りが必要だが休日、休息、年休消化はそのためにも必要であり計画年休などをして法律を守るのが行政だと思うが。

答弁 年休取得の質問ですが職員にも「休む時は休んでもらうなどリフレッシェ」が必要だ。各課長の判断で積極的にしっかりと年休取得をしてもらいたい。計画年休は各部署の都合もあるので「各部署の長」が夏の特別休暇などまとめて取るよう指導している。

## 平和を考える小豆島に

町 「平和の大切さを小豆島から発信していきたい」

質問 昨年7月に「二十四の瞳に学ぶ平和と一く」を行い500名を超える参加者があった。世界では戦争が続けられており「日本も絶対安全」と言い切れない。コーデイナーから「平和を考える小豆島にすべき」と発言があった。当日のアンケートには約100人の方が戦争はいけないという思いを書いていた。5月25日にはオバマ大統領が初めて広島を訪れ平和記念公園

で献花、追悼し「核兵器なき世界を追求する勇気を」と呼びかけられた。被爆者115人の方の内、78%の方が謝罪を求めないとの報道もあった。オバマ大統領が被爆者を抱き寄せた姿がマスコミを通じて世界に拡がり「平和は世界共通の希望」になった。しかしオバマ大統領任せでは戦争は無くならない。平和の決意を聞きたい。

答弁 平和を発信する



猪対策の柵（木庄）

ことは広島市が平和を発信するのと同じで大切な任務だと認識している。

そのような観点から昨年シンポジウムにも参加した。今年は壺井栄50回忌の年であり小豆島町誕生10周年も記念する「平和の島小豆島フォーラム」壺井栄から学ぶ」という行事を9月15日に行う計画だ。

四国学院大学学長の基調講演や二十四の瞳の紙芝居なども予定している。

## 猪鹿垣対策について

町 「早速検討してみよう」

質問 町の「里村共生室」が猪の急増に対応し切れないように思う。小さな畑で芋を作っていた方は猪に荒らされて「もう農業はしたくない」と言っていた。冬、子ども達は集団下校していた。猪は家の近くにも現れ夜、車のライトを照らしても逃げない。

答弁 江戸時代、先人達が作った猪鹿垣は「素晴らしい」もので世界に誇るべきだ。

昔、先人たちは30年もかけ「自普請」で猪鹿垣を約120キロ作り鳥獣との住み分け柵とした。この記録本が先日、出た。猪鹿垣は島の万里の長城と呼ばれ国内、最大級だった。これに学ぶべきだ。

今、小集落は高齢化で防護柵の設置は難しく「ボランティアの活用」は良い提案で活動時の保険も含め早速検討してみよう。27年度は鹿680頭・猿140頭・猪570頭を捕獲20%〜30%増だ。

里村共生室の先進地視察でも民間人が多いが後の草刈りなど管理が大変だ。地域は自分たちで守る意識も大切でありジビエ対策も研究する。





大川 新也 議員

## 瀬戸芸(春会期)の反省点は

## 健康寿命、小豆島町は

町「反省点は多々あり、町長として責任はある」

町「指摘は全て正しく、今後検討課題とする」



質問 瀬戸芸(春会期)が終了し、小豆島全体では多くの来場者があり、大好評とマスコミは評価している。しかし、反省点・問題点も多くみられた。

は何故展示等が、出来なかつたのか。

については設計者が「小豆島らしいもの」をとの思いで、デザイン性の高い形状・特殊な構造・設計で地元施工業者との協議に時間を要した。改めて陳謝申し上げる。

特に草壁地区においては当初、昨年10月現地視察時での構想とかなり内容が変更になり、地元は大きな期待外れの感がある。

答弁 瀬戸芸全体については地域の皆様他多くの方々にご尽力いただいたて成功している。しかし反省点が多くあることは事実である。

②③ダム浮島の展示物材料(石材)の運搬が困難で諦めた。その結果ライン構想は消え、JA構想も同時に断念する。

瀬戸芸の目的は「地域の活性化」が一番と思うが、あまりにも芸術家任せではないか。

特に草壁地区については当初の構想から大きく変わった。責任は町長にあると思う。アーティスト達はそれぞれの立場でベストを尽くしており感謝している。しかしプロである以上、批判されるべきプロとして評価を受けなければならぬが、その前に町長が反省すべきである。

健康寿命を延ばすには、オリーブを摂取するだけでは栄養過多となり、プラス運動をすることが大変大切であると思えるが。

①草壁港アートトイレ工事の遅延は。

①町の健康寿命数値は。

②小豆島中央病院の給食はオリーブ油を使用しているのか。

②草壁港く旧JAく内海ダムのラインで人の流れを生む構想は。

③町内の運動施設は中途半端な規模であり、施設充実の考えは。

④B&Gプールを温水プールにできないか。

③内海ダム・旧JAで

④B&Gプールを温水



草壁港周辺の作品 (小豆亭)

①町としての数値算出は困難である。

②オイルは町の働き掛けで7月1日より使用する事に決定。



どうする 小豆島高校跡地



# 町財政の見通しとあり方について

町「将来、基盤となる施策、

負担にならない取り組みに努める」



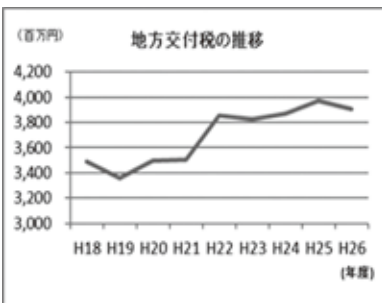
鍋谷真由美 議員

**質問** 本町の財政力指数は0.323、自主財源比率は36.1%と依存度が高く、国の財政状況の推移と地方交付税交付金の動向は重要な問題。特に合併した本町では今後、合併算定の特例が段階的に縮小され「一本算定」に移行することで、地方交付税交付金が激変するのではないか。予想される地方交付税の推移は。

**答弁** 交付税の交付額算定は単純ではなく、交付税制度の見直しが必要という議論もあり、人口減の影響などもある。大まかに立てた見通しでは、今後3億円ぐらいの減少と想定している。

**質問** 今、給与は上がり、年金は減らされ、物価は上がり、福祉、医療が削られる中で、町民の負担は限界点にきている。地方交付税の激減や借金払いが増えることなどを理由に一層の住民負担増や、公共サービスの低下は絶対に許せない。住民・住民自治の立場で、合併の矛盾、影響や国の

**答弁** 進める地方交付税交付金の削減と向き合い、住民の負担軽減と地域経済を循環型に転換することが問われるのではないか。



# オリーブバスのダイヤの見直しは

町「来年4月に可能な

ダイヤ改正予定」

**質問** オリーブバスの路線および時刻変更後の現状と町民の声はどうか。住民の声にすべて応えるのは難しいかもしれないが、今後できる範囲での時刻表の見直しをすることについてはどう思うのか。また、運転手の名前の掲示がされていない事があったという声もあるがどうか。

**答弁** 病院の統合、健康づくり、地場産業の活性化などの施策に取り組み、できるだけ安定した財政基盤、住民サービスの低下を招かないために努めていく。

**質問** オリーブバスのダイヤの見直しは、改善された点もあり、改善可能かどうかの検証作業を行い、変更可能な部分について29年4月を目標としてダイヤの改正を行う予定。乗務員に運行管理規定等に基づき掲示する様指導をしている。今後適切に対応したい。

**答弁** 4月の乗車人数は昨年と比較して約1.52倍と、運賃の値下げや路線、ダイヤの変更等、見直しの効果があった。意見、要望の中で、ダイヤについて当初想定できていない



小豆島オリーブバス

**質問** スクールバスの空時間帯を活用してバスの便数を増やすことはできないのか。

**答弁** 職員の勤務体制およびスクールバスの利用状況から、一定の時間に運行することは困難。

**質問** 公共交通機関の利用が困難な要介護者や身体障害者など、交通弱者の移動手段として計画した福祉有償運送の実施状況は。

**答弁** 社会福祉協議会の実施体制や既存事業者との合意形成ができていないことなどから未実施である。低所得者を対象のタクシー運賃助成制度の創設なども検討していきたい。

## 一般質問



## 「住みよい町づくり を目指して」

藤 本 昌 英

(迎地自治会 総代)

迎地自治会は、140世帯、人口350人で、池田本町の中央に位置しています。

昔から農業の盛んな地域で、特に電照菊に関しては、日本屈指の生産地として当時全国に名を馳せており、子どもの頃の夜の明々とした景色が思い出されます。

私の母校であり若者が集い、活気ある場所であった池田中学校が今では島の医療と生活を守る新しい小豆島中央病院に生まれ変わり、新たな人が訪れる場となりました。

現在の地区の課題として、地域の半数近くが他地区からの転入者となり、また、過疎化の影響もあり、地区内には20軒の住宅が空き家となっております。また、子ど

もの出生率も低くなり、年に一人ぐらいとなりました。

少子高齢化の問題や、病院周辺の整備の問題等多くの課題がありますが、この病院の建設という大きな転換点をきっかけとして、迎地で生まれ育った人と他地区からの移り住んだ人、また、高齢者世代と子育て世代のつながりが強くなり、これからの迎地地区がより元気のある地域となってくれればと思います。



夜間のビニールハウス内の電照菊

地域の方との交流の場として、あいにく会では誰でも参加できる「あいにく会」をはじめとして様々な活動を行っています。例えば夏休みには町政バスを利用して町内施設をめぐる色々な体験をしながら学べる親子研修講座、秋には小豆島町食生活改善推進員さんに協力して頂いての親子クッキング、三世代交流のクリスマス会等々、自分たちの「やってみたい」を今、ここ小豆島で暮らす仲間と一緒に企画し、活動に繋げ、

「小豆島町あいにく会」は、平成18年、旧池田町と旧内海町の合併にともない、小豆島町母子愛育連合協議会の名称を変更し、継続された組織です。あいにく会は、赤ちゃんから高齢者までを対象とし、声掛けや見守りを行い、健康で明るく住みよい地域づくりのお手伝いをしていく団体です。現在48世帯の会員で構成され、特に若い子育て世代の会員さんが多く入会されています。



年会費 一世帯500円

【お問い合わせ先】 あいにく会事務局  
(小豆島町健康づくり福祉課内)  
☎0879-82-7038

たくさん楽しい思い出をつくるのが出来ています。また、行政との関わりを密に持ち、「オリーブ公園遊具選考」等にも携わり会員内から出た様々な意見や要望を提出し、各内容に反映して頂いております。一人ひとりでは難しいことも、皆で力を合わせればきっと実現できます。楽しい仲間たちと一緒に、小豆島で活動の輪を広げて参りましょう。「小豆島町あいにく会」では、幅広い世代の会員を募集中です。ご入会をお待ちしております。



### 議会を傍聴しませんか？

来月の予定は

9月中旬 です。

小豆島町議会は皆様のお越しをお待ちしております。

谷 康 男 記

本年4月の小豆島中央病院の開院、そして来年4月には小豆島中央高校の開校と町のカタチが大きく変わろうとしていく中、私たち議会として将来の小豆島のかたちをどうあるべきか、行政と議会が一緒になって島の未来像を考え、この「議会だより」をとおして皆様に伝え、次の世代を担う子供たちに夢と希望の持てる街づくりを行ってまいります。皆様の小豆島の未来についてのご意見やご要望をお聞かせください。

### 編集後記

本紙に対する  
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108  
E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp